



## Time is money.

先日の参観日では、お忙しい中多数ご参観いただきありがとうございました。学級懇談会にも多数ご参加していただき、保護者の皆様同士の絆が強まったことと思います。懇談会では、子育てに関する様々な情報交換も行われ、もも組、さくら組では、特にお子様のYouTubeの見せ方に悩んでおられる方が多いと聞きました。時代を象徴しています。



さくら組学級懇談会

確かに今の子どもはYouTubeが大好きですね。何と言っても内容が単純明快で多岐に渡っているため飽きることはありません。しかも、だれからも干渉されず、見たいものをいつでも何回でも見られるというその利便性が子どもを「とりこ」にしているのでしょう。YouTubeに対して、各ご家庭では様々なルールや条件を課しておられるようで、それはとても大事なことです。懇談会で紹介されたルールは、大いに参考になると思います。

子どもの趣向は時代とともに変わっていきます。大人があらがう余地はありません。

今はあらゆるものがスピーディーになっています。これからはますます進化していく勢いです。ひと昔前に比べてとても便利な社会になりましたが、その反面、「時間がかかること」、「待つこと」は無駄なことという偏った考えが助長されてはいけません。前号で述べた「タイムパフォーマンス」も時に大事ですが、集中力が続かない子、結果をすぐに求める子、すぐキレる子にならないよう、「待つ」、「我慢する」心を育てることも、遊びに限らず日常生活の中で意識していきたいものです。

米スタンフォード大学の心理学者ウォルター・ミシェル氏が行った「マシュマロ実験」。

対象は4歳の子どもたち。机一つ置かれた小さな部屋に一人ずつ連れて来られた子どもの前に実験者はマシュマロを一つ置き、「私は用事があるのでこの部屋を出るけど、このマシュマロはあなたにあげるね。食べたかったら食べてもいいけど、私が戻って来るまで食べずに我慢していたら、もう一つマシュマロをあげるよ。じゃあ、15分したら私は戻って来るからね。」  
・・・おいしそうなマシュマロを前に、子どもはどうしたでしょうか？

この時マシュマロを食べた子よりも食べなかった子の方が、その後の追跡調査によると学校での成績が良かった。また、問題行動を起こす割合が低かったそうです。つまり、セルフコントロール（自制心）や我慢強さが、実生活では非常に重要、IQよりもセルフコントロールの方が人生に大きく影響される…と言うのです。

やがて、この実験には子どもたちの家庭環境が大いに左右されるため信憑性に欠けるという異論が出たそうですが、明らかなのは、我慢ができる子はできない子よりも社会に出た後も幸せを感じる人生を送ることができるということです。

欲しいと言ったものを買ってやり、わが子が喜ぶ顔を見るのは親としても至福のひとつです。でも、望みをかなえてやれば親の務めを果たしたとなるのでしょうか。すぐ買ってやったところで本当に大切にしてくれるかわかりません。ある程度の長い期間、待たせ、我慢させるのも有効です。

私が子どもの時、友達が持っていた子ども用自転車がとてもうらやましくて、親にねだろうかと思いましたが、「うちにはそんな金はない」と一蹴されるのがわかっていたので、我慢するというより、最初からあきらめたことを思い出します。でも、そのうちその熱は冷め、大人用の自転車のまま走り回っていました。時間がたてばやがて熱は冷めるものもあります。きっとたくさんあります。

「Time is money」とは時間を大事に、有効に使おうという意味の諺ですが、子育ての視点では、「時間がたてば無駄なお金は使わなくて済む」という解釈もできますね。10日は「時の記念日」。待つ時間にも価値があります。待ち焦がれて得たものは生涯大切にします。（園長 寺本 明生）